

平成28年度 さいたま市立田島小学校 学校評価結果

教育目標： 心豊かで がんばる子 ・進んで学習する子 ・思いやりのある子 ・健康で明るい子

評点＝評価点数の平均点 評価A(よい)＝4点 評価B(概ねよい)＝3点 評価C(少し改善が必要)＝2点 評価D(改善が必要)＝1点

		全 体	3.3	3.3	→
No.	(1) 学習指導の充実	種 別	27評点	28評点	比較
①	学習指導において、学習規律と学習意識を確立するとともに、一人ひとりの児童との信頼関係を深めることができたか	教職員	3.3	3.2	↓
	お子さんは、先生を信頼して学習している	保護者	3.6	3.6	→
	児童は、先生を信頼して学習している	地 域	3.7	3.6	↓
②	本物体験、読書活動を充実させたり、授業で問題解決的な学習指導を行ったりすることができたか	教職員	3.2	3.1	↓
	学校は、体験活動を授業に取り入れ、効果をあげている	保護者	3.3	3.3	→
	学校は、体験活動を授業に取り入れ効果をあげている	地 域	3.6	3.5	↓
③	学習状況調査等の結果に基づき指導方法の工夫・改善を行いながら、児童一人ひとりの学力向上を図ることができたか	教職員	3.1	3.1	→
	お子さんは、授業をよく理解している	保護者	3.1	3.1	→
	児童は、授業をよく理解している	地 域	3.4	3.2	↓
④	楽しい授業を基本に据え、考え、話し合い、学び合う授業へ転換し、知的好奇心、考えることの楽しさを実感させることができたか	教職員	3.0	3.2	↑
	お子さんは、授業が楽しいと感じている	保護者	3.1	3.2	↑
	児童は、授業が楽しいと感じている	地 域	3.4	3.4	→
学習指導の充実については、昨年度に引き続き評価がすべて3.0以上になり、良好といえる。特に、「授業の楽しさの実感」の項目が上がった理由は、本年度から算数科に重点を置いて、友達や学級全体で学び合う学習を進めている結果であると思われる。一方、教員への信頼、指導方法の工夫、授業の理解や楽しさの項目については、若干の下降が見られるので、より分かりやすい授業を目指して工夫・改善に努めていく必要がある。					
		全 体	3.3	3.2	↓
No.	(2) 豊かな心を育てる教育の推進	種 別	27評点	28評点	比較
⑤	学校内外で「おはようございます」「こんにちは」「ありがとう」など、強い子のあいさつのできる児童を育成することができたか	教職員	3.1	3.1	→
	お子さんは、あいさつをよくする子に育っている	保護者	3.1	3.0	↓
	児童は、あいさつをよくする子に育っている	地 域	3.5	3.3	↓
⑥	「はい」と強い子の返事のできる児童の育成することができたか	教職員	3.0	3.1	↑
	お子さんは、返事をよくする子に育っている	保護者	2.9	2.8	↓
	児童は、返事をよくする子に育っている	地 域	3.5	3.2	↓
⑦	小中連携によるあいさつ運動・日常のあいさつ運動を推進することができたか	教職員	3.3	3.0	↓
	学校のあいさつ運動は、効果をあげている	保護者	3.1	2.9	↓
	学校のあいさつ運動は効果をあげている	地 域	3.7	3.6	↓
⑧	組織的な生徒指導を実施し、子供たちの相互の関わりの中で、好ましい人間関係の確立を図ることができたか	教職員	3.4	3.5	↑
	お子さんは、仲良く生活し、約束を守る子に育っている	保護者	3.2	3.1	↓
	児童は仲良く生活し、約束を守る子に育っている	地 域	3.5	3.4	↓
⑨	一人ひとりのよさを発見・励まし・ほめるなど、自らに対する自信を育て、自尊感情を高めることができたか	教職員	3.2	3.4	↑
	学校は、お子さんのやる気を引き出す教育を行おうとしている	保護者	3.1	3.0	↓
	学校は、児童のやる気を引き出す教育をしている	地 域	3.8	3.5	↓
⑩	生命尊重、いじめ防止、動物介在教育の充実に努めることができたか	教職員	3.3	3.4	↑
	学校の命や動植物を大切にする教育は、効果をあげている	保護者	3.3	3.2	↓
	学校の命を大切にする教育は効果をあげている	地 域	3.5	3.5	→
豊かな心を育てる教育の推進について全体的に見ると及第点は得ているものの、若干の下降が見られる。特に、あいさつや返事に関する項目について、地域・保護者からの評価が大きく下降している。PTAや防犯ボランティアをはじめとする地域の方々からも、登下校中のあいさつが「今ひとつ」という声をいただいている。次年度に向けて、従来のあいさつ運動をより進めていくだけでなく、誰に対しても気持ちの良いあいさつをすることができるよう、子どもたちの心を育成していきたい。また、あいさつ・返事は基本的な生活習慣の一つであるので、家庭の中において保護者の一層の協力も求めていきたい。					
		全 体	3.3	3.3	→
No.	(3) 安全教育の推進	種 別	27評点	28評点	比較
⑪	体力の向上、病気の予防、望ましい食習慣など、安全で健康な生活を実現する意識を高め、向上させることができたか	教職員	3.1	3.5	↑
	学校の通学班への指導は、実態に合わせて適切に行われている	保護者	2.9	2.9	→
	通学班への指導は、実態に合わせて適切に行われている	地 域	3.5	3.5	→
⑫	事故や災害を防ぐ体制や教育(計画・マニュアル・訓練・指導)の整備充実を行うことができたか	教職員	3.1	3.4	↑
	学校の避難訓練などの安全教育は、効果をあげている	保護者	3.3	3.2	↓
	学校の避難訓練などの安全教育は効果をあげている	地 域	3.7	3.3	↓

安全教育の推進についてのほとんどの評点が3.0以上であり、良好といえる。しかし、保護者からの評価が2点台と課題になっている「通学班への指導」については、昨年度から横ばいであるので、今後も安全教育を学校・地域・保護者が連携して推進していく必要がある。

		全体	3.3	3.2	↓
No.	(4) 学校・家庭・地域との連携強化	種別	27評点	28評点	比較
⑬	計画的な学習行事を組む中で、家庭・地域社会との連携を図り、信頼関係を深めることができたか	教職員	3.2	3.2	→
	学校での授業や行事、児童の様子は、ご家庭に伝わっている	保護者	3.1	3.1	→
	学校行事や児童の様子は、地域に伝わっている	地域	3.5	3.4	↓
⑭	家庭学習の手引きを作成・配付し、家庭と連携して家庭学習の習慣化が図れたか	教職員	3.0	3.1	↑
	学校は、家庭と連携して家庭学習の習慣化を図ろうとしている。	保護者	3.1	3.1	→
	学校は、家庭と連携して家庭学習の習慣化を図ろうとしている。	地域	3.5	3.4	↓

家庭学習の項目が、確かな学力の向上の取組も、学校・家庭・地域との連携強化が不可欠であるとの考えから、この大項目に設定されている。本校は、家庭学習の充実を図るために「家庭学習の手引き」を利用した取組を進め、一定の効果が得られているが、より一層の保護者の協力を求めている。

		全体	3.2	3.3	↑
No.	(5) 特別支援教育の充実	種別	27評点	28評点	比較
⑮	配慮を要する児童の実態を正確に把握し、全職員で組織的に教育的支援を進めることができたか	教職員	3.5	3.5	→
	学校は、一人ひとりにあった指導を行おうとしている	保護者	3.1	2.8	↓
	学校は、一人ひとりにあった指導を行おうとしている	地域	2.9	3.5	↑

昨年度に比べ、若干の向上が見られる。なかよし相談日等の教育相談、なかよしポストの実施をはじめ組織的な教育支援が機能したと思われる。ただし、保護者、地域に対する質問の文章からは、「特別支援教育」の評価項目であるということが分かりづらいので、改善する。今後も、通常学級においても特別支援教育を推進していく。

		全体	3.0	3.3	↑
No.	(6) 美しい環境づくりの推進	種別	27評点	28評点	比較
⑯	教育活動を有効にする教室環境の整備・美化に努め、清掃活動・掲示教育・勤労体験を通して情操豊かな心を育てることができたか	教職員	3.2	3.3	↑
	学校の教育環境は整えられ、お子さんの成長に役立っている	保護者	2.9	3.1	↑
	学校環境は整えられ、お子さんの成長に役立っている	地域	2.9	3.5	↑

美しい環境づくりの推進については、昨年度と比較して大幅に向上した。日常的に教室環境の整備に努めるとともに、各学期末の大掃除に際しては保護者に御協力をいただくなど、家庭と連携した取り組みが功を奏していると考え。今後も、ご協力をいただきながら、教育効果が上がる美しい環境の整備に努めていく。

		全体	3.3	3.5	↑
No.	(7) 個人情報や会計の安全管理	種別	27評点	28評点	比較
⑰	諸表簿への正確な記入と適切な管理及び公費・私費会計の明確化・適正化に努めることができたか	教職員	3.4	3.6	↑
	学校の会計処理は、適切である	保護者	3.2	3.5	↑
	学校の会計処理は適切である	地域	3.2	3.5	↑
⑱	個人情報の管理には十分配慮し、信用を失墜することのないようにするとともに、ICTの推進を図ることができたか	教職員	3.2	3.4	↑
	学校の個人情報管理は、適切である	保護者	3.5	3.4	↓
	学校の個人情報管理は適切である	地域	3.5	3.5	→

個人情報や会計の安全管理については、両項目とも3.0以上であり、良好な評価である。学校での会計処理や個人情報管理について、保護者・地域の方々から御信頼いただいていると考える。今後も「事故ゼロ」を継続し、信頼される学校を目指していく。